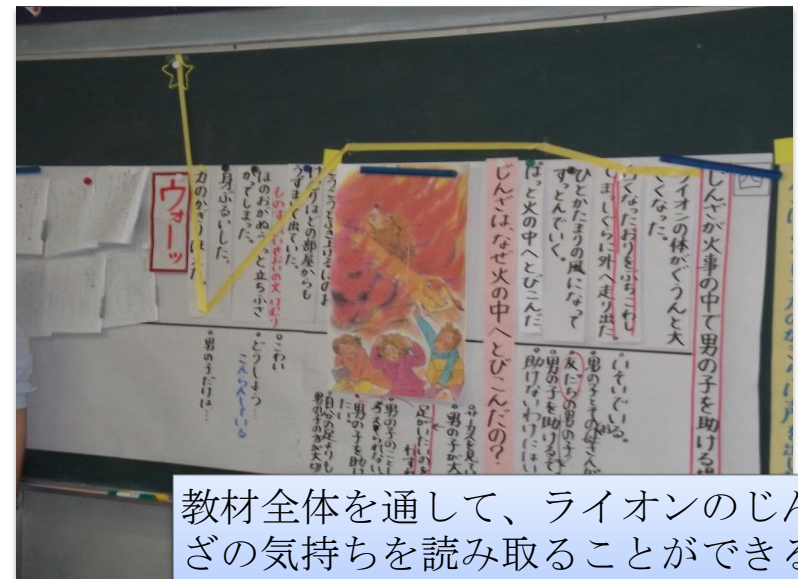




教科書を、印刷して本状にし、主人公の気持ちを書き込んで読み取ることができるようにしました。

ブックトーク

主人公の気持ちを読み取ることを行ってきた授業の終末部分で、他の本にも触れる機会を設定しました。司書教諭や読書ヘルパーが、担任と相談しながら、本を出雲中央図書館などから集め、その中のいくつかをブックトークしました。そして、教材文の世界をさらに広げ、動物と人間の交流や心のふれあいについて、さらに理解を深めることができました。



教材全体を通して、ライオンのじんごの気持ちを読み取ることができるように、板書を工夫しました。